

「伝えられてきたもの」の授業プラン

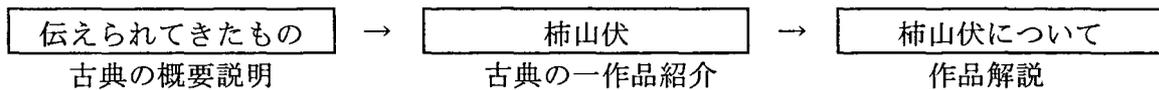
尾道市立西藤小学校 吉田貴志

(1) 教材について

教材を一読して、まず日本の古典の一つとして紹介されている「狂言」に興味をわいた。「柿山伏」は初めて読んだが、登場人物である山伏と柿主とのやりとりがおもしろかった。特に、勝手に柿を食べてしまった山伏が柿主からかわられる場面では、たぶん次はこういう展開だろうと予想しながら楽しく読むことができた。終わりにある解説文「柿山伏について」では、「狂言」の歴史的背景や価値について述べられていて興味深かった。

児童がこの教材を読むと、まず「柿山伏」の表現のおもしろさにひかれるだろう。狂言特有の表現に、初めは意味がよく分からない児童も多いと思われるが、繰り返し音読していくことで、その内容のおもしろさにも自然と気づいていくだろう。まさに、児童にとって声に出して読みたい教材であると考えている。

新学習指導要領の国語科改訂の趣旨には、「我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育てること」を内容の改善の重点として挙げている。また、そのために「生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する指導を重視する」と示している。「古典に親しむ態度の育成」には、古典とのよい出会いが必要だと考える。児童が古典に興味をもつような学習指導、授業展開がポイントとなるだろう。その点で、本教材は三つの教材が効果的に配列されている。



初めに、よく知られている古典を簡単に紹介することで、学習に対する興味付けをし、次に、一作品として狂言「柿山伏」を紹介することで、一気に古典の世界に児童を引き込む構成となっている。ここまででも、古典に親しむ学習は十分に展開できるだろう。しかし、本教材はさらに「柿山伏」の解説文へつなげている。この文章があることで、狂言が今で言うコントのようなものではなく、当時の人々の生き方を表しているものであることが分かり、古典の価値にふれる学習を展開できるようになっている。

(2) 学習目標について

① 価値目標

第5学年及び第6学年の伝統的な言語文化に関する事項では、「親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。」「古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。」と示されている。このことを同学年の道徳の内容4-(7)「郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。」と関連させ、価値目標を「我が国の古典にふれ、当時の人々の思いを感じ取りながら、古典について関心をもつ」と設定する。

② 技能目標

(ア) 関連する学習指導要領の目標は、伝統的な言語文化に関する事項「親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。」及び「古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。」である。

(イ) これらの指導事項を受けて、本単元では、『柿山伏』の内容の大体を知り、音読する。』『柿山伏』の解説文を読み、当時の人々のものの見方や感じ方を知る。』を目標とする。

(ウ) 以上の目標に加えて、「古典を読んで推薦の文章を書くこと」も技能目標として設定する。

③態度目標

社会科の歴史学習と関連付け、古典に関心を持ち、図書室等で関連する本を探して読む。

(3) 言語活動と活動目標

「古典ブックトークをしよう」を活動目標に設定し、作品の音読を入れながら古典の紹介をするという言語活動を展開する。

具体的には、「柿山伏」のおすすめ場面を音読しながら、作品のおもしろさやそこに込められた人々の思いを紹介するブックトークを行う。さらに、自分がさがした古典について同様なブックトークを行うことで、古典への関心を広げていけるのではないかと考えた。

(4) 方法と評価

活動目標＝単元名（古典ブックトークをしよう） 全（6）時間

| | 言語活動 | 学習目標 | 評価方法 |
|-----|---|--|------------------------------|
| 導 入 | 【事前】 ○図書室等で古典を探して読む。 | 【態度目標形成】 ・社会科の歴史学習と関連付け、古典に関心を持ち、図書室等で関連する本を探して読む。 | ◎読書カード |
| 展 開 | ①「伝えられてきたもの」を読み、それまで読んだ古典とつなげ内容をとらえる。 ②「柿山伏」を音読して、内容をとらえる。 ③「柿山伏について」を読み、内容をとらえる。 ④「柿山伏」のおすすめ場面を紹介するブックトークをする。 | 【技能目標形成】 ・「柿山伏」の内容の大体を知り、音読する。 ・「柿山伏」の解説文を読み、当時の人々のものの見方や感じ方を知る。 | ◎ノート ◎ブックトーク原稿 ◎発表 |
| 終 結 | ⑤⑥自分が探した古典を紹介するブックトークをする。 | 【価値目標形成】 ・我が国の古典にふれ、当時の人々の思いを感じ取りながら、古典について関心をもつ | ◎ブックトーク原稿 ◎発表 |